横浜つづきワイズメン＆ウィメンズクラブ　Bulletin No. 211　January 15 , 2024

謹賀新年

今月の聖句

「目を覚ましていなさい。信仰に基づいてしっかり立ちなさい。雄々しく強く生きなさい。何事も愛をもって行いなさい。」

コリントの信徒への手紙Ⅰ
16章13、14節

1月本例会

日時　1月26日（金）17:30～
場所　かけはし都筑
司会　横田孝久　受付　今城宏子

～次第～

1. 開会点鐘
2. ワイズソング・ワイズの信条 唱和
3. 今月の聖句　相賀チャプレン
4. 会長挨拶・ゲスト・ビジター紹介
5. 2023-24年度第二回総会
   議案1：次期クラブ役員選任
   議案2：メンバー役割分担
   議案3：その他（if any）
6. 新入会者入会式
7. 協議・報告事項
8. YMCA報告
9. Hppy Birthday
   1/16　鴨下純久
   1/18　水谷裕子
10. アピール
11. 閉会点鐘

※会食会・新入会員歓迎会

《巻頭メッセージ》　大野 君枝

「あけましておめでとうございます」と口にするのもはばかれるほど、2024年は波乱の幕開けになりました。被災された皆さまがどうか力強く立ち直られますよう、主のお守りを切に祈ります。

さて、新年の巻頭メッセージを任されましたので、昨年出合った“みことば”について少しお話したいと思います。

「ですから、今、それをし遂げなさい。喜んでしようとおもったのですから、持っているもので、それをし遂げることができるはずです。もし熱意があるならば、持たない物によってではなく、持っている程度に応じて、それは受納されるのです。私はこのことによって、他の人々には楽をさせ、あなたがたには苦労をさせようとしているのではなく、平等を図っているのです。」（コリントⅡ　8章11～14節）

横浜YMCAクリスマス礼拝で、私の耳に、この“みことば”が飛び込んで来たのです。約2000年も前に、当時、内部分裂していたコリントの初代教会に宛てたパウロの手紙の一部ですが、私は急いで家に帰ってもう一度聖書を開き、こんなに今の自分にぴったりの“みことば”があったことに感動しました。

昨年、ウクライナ避難民の方々に暖かい手編みのマフラーや帽子を届けたいという小さな提案を「つづきクラブ」でさせていただきました。計画どおりにいくかしら、夢で終わるのかもと心配でしたが、あれよあれよと何本もの道が開かれ、十日市場ケアプラザでの交流会で直接の手渡しが叶い、横浜市やYMCA同盟のお力添えで100点を超す作品を余ることなくウクライナ避難民の皆さまに届けていただける手筈にもなりました。材料の毛糸は各家で眠っていたものでした。「熱意があるならば」「持っている程度に応じて」というみことばどおり、すべての奉仕者の熱意で、毛糸は美しいマフラーや帽子に生まれ変わり、今頃は避難民の皆さまの首元を暖めているのではないかと思いを馳せています。それを神様が祝してくださり、そのことによって私達はウクライナという遠くの国の方々と出会え、携帯翻訳機能を使って笑顔を交し合うこともできました。　そして、想像もできない現状に耐えて、強く明るく生き抜く姿に、私は自身が直面している先の見えない病に立ち向かう勇気をいただいたのです。

「今あなたがたの余裕が彼らの欠乏を補うなら、彼らの余裕もまた、あなたがたの欠乏を補うことになるのです。多く集めた者も余るところがなく、少し集めた者も足りないところがなかった。と書いてあるとおりです」（コリントⅡ　8章14～15節）

すべては神様が支え、整え、平等の道を示してくださったのだと気づき、深く主に感謝いたしました。

本年は、まずは能登半島地震の被災地復興や、世界平和を切に祈りつつ、高齢者の多いクラブのメンバーの健康がまもられ、全員で心を合わせて前を向いて歩んで行けたらと願っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。（了）

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《12月度本例会報告》

日時：2023年12月22日（金）17:30~19:15
会場：夢カフェ
司会：坂口直樹、報告：辻剛
出席者：
（メンバー）相賀、今城Ｈ・Ｔ，大野、岡田、坂口、
鈴木Ｋ・Ｔ，辻Ｔｓ，横田　（10名）
（ゲスト）ロバート・エスキルドセンさん、水谷裕子さん、
鮫島幸和子さん、鮫島紘孝さん、
岩田由江さん、高松満至さん　（6名）

～次第～
１．開会点鐘・黙祷　（会長）
２．ワイズソング・ワイズの信条唱和
３．今月の聖句と祈祷　（相賀昇チャプレン）

４．会長挨拶・ゲスト紹介
「ワイズ年度はちょうど半分過ぎたところですが、会長任期は後半年残っている状況です。今年の後半はウクライナ避難民の皆様にマフラーを贈呈するなどワイズらしい取り組みもできたと思っています。　（ゲストの名を上げて紹介）来年もよろしく願いします。」

５．審議・検討・報告事項
１）行事予定と参加者確定
①つるみクラブ主催「駅伝観戦と新年会」：過去には久保勝昭つるみクラブ会長のご自宅で開催していたが、来年は鶴見駅近くのスナックで開催。クラブの公式行事ではないがご希望の方は申し出ること。現在のところつづきクラブから5名、つるみクラブから５名程度と久保会長友人数名の参加と聞いている。
②横浜YMCA－湘南・沖縄部合同新年会：
1月13日（土）／当クラブ出席予定者：
今城H/T、鈴木S、ロブ先生、水谷先生

③つづきクラブ事務例会：1月9日（火）
17:00~、　@夢Café

④つづきクラブ本例会（総会＋新入会員入会式）:1月26日（金）17:00　@かけはし都筑
「本日の事務例会にてロブ先生、水谷先生、鮫島さんの入会が正式に承認された。」

６．2023-24年度後期役割分担：（変更と確認）
本例会司会者／本例会受付・記録作成＋
（ブリテン巻頭メッセージ）
１月：横田孝久／今城宏子　（大野君枝）
２月：辻剛／横田孝久　（坂口直樹）
３月：大野君枝／坂口直樹　（山添　訓）
４月：鴨下純久／大野君枝　（鈴木恭子）
５月：岡田美和／鈴木恭子　（今城宏子）
６月：今城高之／鈴木茂　（鴨下純久）

７．YMCA報告：鴨下担当主事欠席のため、横浜YMCAクリスマス礼拝の報告が鈴木Sからあった。合計出席者は約１５０名。（内、約100名が対面出席）。当クラブから今城H・T、大野、鈴木S、横田の各氏が出席。

８．閉会点鐘（会長）
＊閉会後、クリスマス祝会を開催した。入会予定者の３名を含め６名のゲストの皆様も参加してくださり大いに盛り上がりました。会長を始め事前準備にご奉仕くださった皆様に感謝。　（辻　剛　記）

《ご案内》

当クラブの3月本例会（3月22日金曜日、17:30開始）で卓話をしてくださる前山 匡洋さんをご紹介します。
競争の厳しいテレビ界の中で、制作畑一筋に活躍された前山さんが、テレビ番組制作のあれこれにつき語って下さいます。
クラブ会員以外の方も奮ってご参加ください。 ご参加希望の方は、当クラブメンバーあるいは次までご一報ください。
例会参加希望連絡先：timajo913@tuba.ocn.ne または 090-2669-3092 まで

前山匡洋（まえやま まさひろ）さん

～プロフィール～

- 1946年7月12日、佐賀県鹿島市に薬局の次男として誕生。
- 県立加島高校時代は弓道部で、インターハイ九州予選4位の活躍。
- 1969年3月、日本大学芸術学部演劇科演出専攻卒、同年4月、日本科学技術振興財団テレビ事業本部（東京12チャンネル）へ
- 制作局に配属、歌謡、クイズ、お笑い、トーク番組などの、バラエティーからドキュメンタリー番組まで幅広く担当
- 1981年10月、東 京12チ ャ ン ネ ル が（株）テレビ東京へ社名変更。「いい旅・夢気分」や朝の生ワイド番組 等も担当ディレクター、プロデューサーを務 める。
- （株）BSジャパン（現 BSテレビ東京）で初代制作部長、（株）テレビ東京制作で取締役を歴任。 2006年7月、テレビ東京退職後、（株）テレQ（テレビ東京系福岡ネット局）、（株）テレビ東京ダイレクト（テレビ東京の通信販売会社）などで75歳まで勤務、現在77歳。

北Y便り

横浜北YMCA 副館長 太田 聡

先日、NPO法人えじそんくらぶ25周年記念イベントに参加してきました。この団体は、ADHD（注意欠如多動症）の正しい知識の普及と支援等を目的としている団体です。

記念イベントでは落語家の柳家花緑さんが出演され、ご自身の生きにくさとその中で気づいたことをお話されました。花緑さんは、祖父が柳家小さんで、９歳で高座にあがり、戦後最年少の22歳で真打昇進をしています。華やかな経歴の一方、小学校から勉強が全くできず、特に読み書きができない。その自分を支えていたのが落語でした。落語はテキストがあるわけではなく、師匠からの口伝で学ぶため、読み書きはできなくても耳から覚えられる花緑さんの学び方に合っていました。

落語家としてさすが軽快なトークですすんでいきましたが、最後に3つのおススメがありました。「そうじ・笑い・感謝」です。共通点は、「全てお金がかからずにできること」として、誰にでも取りくみやすい、人生をプラスに変えていく秘訣として話をまとめられました。

その中で、「感謝」についての説明が、私の心に残りました。「頑張る」の反対の言葉は何だと思いますか？私は「怠ける」かなと思いましたが、花緑さんは、「私は『感謝』だと思います」と言われました。「頑張る」を否定するものではないと添えた上で、「『頑張る』は今の状態に満足せずに、今まだない状態へ進むベクトル。一方『感謝』は、今あるものに向き合うこと。私たちは、学校で頑張ることばかり教わりすぎているかもしれない。また『頑張る』は、『我を張る』でもあり気を付けなければならない」と。

YMCAのクラスでは、失敗体験が多く、傷ついている子どもたちに、「もっと頑張れ！」とは言わずに、まずはその子の持つ良さを認め、自尊心が高められる関わり方を大切にしていますが、この話と繋がるなぁと感じました。

新しい年の始まりから大きな災害があり心を痛めます。募金活動もスタートいたしますが、被災された方々の平安が一日も早く訪れますように祈り、関係団体と協力して支援をしてまいります。2024年もどうぞよろしくお願いいたします。

遠くに富士山を望む三浦GEVキャンプ場から見る相模湾

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《クラブ例会報告》 2024年1月度事務例会

日時：2024年1月9日（火）17:00~19:00
会場：夢Café
司会：今城高之会長　報告：岡田美和書記
出席者：今城H・T、大野、岡田、鴨下、坂口、
鈴木K・S、辻T・Ｔｓ、横田　（11名）
～概要～
1．開会点鍾・黙祷　今城高之会長
2．会長挨拶　今城高之会長
3．審議・検討・報告事項
1）１月度本例会について
1月26日（金）17:30~19:00@かけはし都筑
司会：横田　受付：今城H
新入会者の入会式と今年度第2回のクラブ総会を併催する。
①新入会者の入会式について
新入会者：ロバート・エスキルドセンさん、
水谷裕子さん、鮫島幸和子さん
来賓予定者：　黒川勝　湘南・沖縄部部長、
佐藤節子　部会員増強主査、
古田和彦　部書記
黒川部長に入会式の司式をお願いする予定。
②2023-2024年度第２回クラブ総会
議案1：クラブ役員の選任について
議案2：クラブメンバー役割分担について
鈴木次期会長にから議案1、議案2に関する提案があり、参加者全員のが合意したため、総会に諮り承認を得る予定。
③本例会終了後、来賓も交えて懇親会並びに新入会会員歓迎会をおこなう。
・場所：センター南「土間土間」
・会費3,000円（不足分はクラブで補填、新入会者は招待）

2）ウクライナ支援の手編み製品等について
前回報告の通り、完成品数十点を日本YMCA同盟のウクライナ避難民支援拠点を通じて、避難民の皆さんにお届けしたが、残余の毛糸、端切れ等が相当量あることから、同拠点の手芸チーム（写真参照）に贈呈し役立てて頂くことにし、先般、段ボール箱3個口で輸送した。

3）YMCA同盟が募集している能登地震支援募金にクラブとして参加する。

4．今後の予定について
1/26（金）1月度本例会　17:30~19:00
@かけはし都筑
新入会者の入会式、クラブ総会を併催
2/13（火）２月度事務例会　17:00~19:00
@夢Café　ピンクシャツディとして、参加者はピンクの物を身につけて写真撮影する。
2/23（金・祝日）2月度本例会　17:30~19:00
@夢Café　司会：辻T　受付：横田
3/12（火）3月度事務例会　17:00~19:00
@夢Café
3/22（金）3月度本例会　17:30~19:00
@かけはし都筑
卓話者：前田匡洋さん
「テレビ界の裏側、よもやま話（仮題）」
5/17・18（金・土）富士山例会★
コロナ禍により長年中断していた富士山例会の再開を望む声が大きく、検討することとなっていた。今回、希望する日程で富士山YMCAの仮予約が出来たので、早急に実施案を詰めることとした。
①富士山YMCAのA/B棟全体を仮予約した
②交通手段として、移動例会と同様のマイクロバスを利用することとし、運転手の臼井さんの確約が取れたので車両の予約を行った。
③経済的観点から、20名以上の参加が望まれることから、他クラブ並びに知人・友人にも声掛けして参加者を募ることとした。
④プログラム企画グループを早急に立ち上げる。

5．黙祷・閉会点鐘

四谷の日本YMCA同盟会館に集うウクライナ避難民の「YMCA手芸部」の皆さん。残余の毛糸と端切れは彼女たちに託しました。きっと素敵な民芸品に仕立ててくれることと思います。

《会長のひと言》　新年を迎えて

クラブ会長　今城高之

長い長い新型コロナウイルスとの闘いが一段落して迎えた2024年は、元旦には能登半島を中心に大地震が発生し、また、2日には羽田空港における航空機の衝突事故発生と、前途多難を感じさせる幕開けとなりました。　世界に目を向けると、ロシアのウクライナ侵攻は収まる気配なく、パレスチナでの紛争も泥沼化し、収束の目途が立ちません。それら以外にも、様々な悲惨な事例を上げると枚挙にいとまがありません。ようやく、グローバル規模での地球温暖化防止対策やSGD s の取り組みが緒に就き始めた矢先のこれら紛争や災害は、人間の罪深さ、愚かさを露呈し、凄まじい勢いで人の命が奪われ、憎しみの連鎖は広がるばかりです。　私たちが、日々、この世に平和が来るようにと祈っていても、少しでもより良い社会が訪れるようにとの働きも、成果を上げることなく、一見より厳しい方向へ向かっているようにさえ思えます。　しかし、私たちはあきらめません。　私たちが信じる神様は、何度も何度も、愛の重要さを説き、愛を忘れないようにと教えています。

「『自分の隣人を愛し、敵を憎め』と命じられている。しかし、わたしは言っておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。」（マタイによる福音書 5:43-48）

「悪に負けることなく、善をもって悪に勝ちなさい。」（ローマ 12：21）

「霊の結ぶ実は、愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、礼節です。」（ガラテヤ書 5:22-23）

と聖書にはいたるところに真の愛をもって生きるよう教えています。　私たちの、社会に対するごく細やかながらも愛に裏打ちされた運動が、周りの人々に希望や喜びを与え、それが大きな広がりとなってこの世に真の平和が訪れることを信じたいと思います。

そんなことを思いつつ新年を迎えました。　皆様にとって今年がよい年でありますよう。　（了）

《TKB報告》

12月のTKBお仕事会では、宮城県の施設にお届けする、龍の折り紙をあしらったバースデーカードを作りました。「龍」？「牛」？　可愛い龍！
TKBの仲間と、そのお友達の努力で、クリスマスまでに多くの手編み作品をウクライナ避難民の方々にお届けすることができました。
お届けするのに力を貸して下さった、横浜YMCAの避難民支援拠点「みどりクラブ」、横浜市の支援拠点「ドゥルーズィ」、日本YMCA同盟の支援拠点「Why Base」の関係者の皆様には 心より感謝いたします。

《トピックス》

去る1月13日、コロナ禍により暫く途絶えていた横浜YMCAとワイズ湘南・沖縄部の合同新年会が横浜中華街の「廣東飯店」で開催され横浜YMCAの幹部スタッフ、各クラブ担当主事、湘南・沖縄部各クラブメンバーやゲストなど50名弱が集いました。久しぶりの交流の場に花を添えたのは1月例会の際に当クラブに入会予定のロブ・エスキルドセンさんと　水谷裕子さんご夫妻で、参加者全員からの温かい拍手と歓迎の言葉で迎えて頂きました。当クラブからは、今城会長、鈴木副会長、今城宏子さん、鴨下担当主事が参加しYMCAの皆さんや湘南・沖縄部の皆さんとの親交を存分に温めました。

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

国際会長　ウルリック・ラウリドセン氏（DNK)より新年のメッセージが寄せられましたのでご紹介します。

新年を迎えるにあたり、多くの人が個人的な目標や抱負を立てるのが通例です。しかし、ワイズメンズクラブ国際協会(YMI)の1年はそれとは異なります。私たちの目標は、新しいリーダーシップの発足に合わせて、年度開始の7月のかなり前に設定されることが多いです。このプロセスは、それぞれに異なるものではありますが、野心と回復力に関する普遍的な真実を含んでいます。

元国際会長の力強いテーマ「小さな夢は見るな」を振り返りながら、私は、真心と決意をもって壮大なビジョンを追い求め、その達成のためにたゆまぬ努力を続けてきた数え切れない人たちのことを思い出します。彼らの旅路は、私たち全員が受け入れるべき精神の模範であり、特に、私がすべての新しいリーダーに受け入れるよう奨励するスローガンに集約されています。「より高く、より遠くへ」。

リーダーシップにおいても人生と同様、困難は避けられません。昨年、YMIは数々の困難に直面しましたが、前向きなマインドセットと崇高な目的のあくなき追求こそが、私たちの存続と成功を確かなものにします。この信念が、これからの1年を導いてくれることでしょう。

この回復力を物語る、シンプルだが深い物語を紹介いたします。

2匹のカエルが牛乳缶に落ちました。1匹は、すぐに希望を失い、運命に屈しましたが、もう1匹は、命ある限り希望があるという信念にしがみつきました。夜通し泳ぎ続けたこのカエルは、やがてミルクをバターに変え、その揺るぎない決意に救われて、外に出ることができました。

この物語は、マタイによる福音書10章22節にある「最後まで耐え忍ぶ者は救われる。」という、より深く霊的な真理と類似しています。

指導者としての任期が半ばを迎えた今、私たちは、前途に光を見出すことができます。旅はまだ終わってはいません。目標に向かって努力を続けなければなりません。これらの目標を達成することで得られる誇りと満足感は、私たちのコミットメントと強さの証となるでしょう。

この新年、私たち全員が希望とインスピレーションの光となりましょう。前向きな姿勢で、ワイズメンズの仲間に野心的な夢 を抱くよう励まし、皆さんの光を明るく輝かせましょう。

新年が皆さんにとって幸多き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。成功、成長、そして最高の願いの実現に満ちた年でありますように。

Ulrik Lauridsen
International President

（前月実績）

例会出席	16名	在籍会員数	15名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	10名	月間出席者数	10名	スマイル	0円	27,153円
ビジター	0名	ﾒｰｷｬｯﾌﾟ	3名	―	―	―
ゲスト	6名	月間出席率	86%	―	―	―

《会費納入のお願い》

会員の皆様！
いよいよ年度の後半に入りました。
後期の会費納入にご協力ください。

納入額：月額3000円で6か月分
18,000円

横浜銀行菊名支店
普通預金口座番号　1330228
口座名：横浜つづきワイズメン＆ウィメンズクラブ

・・・編集後記・・・

▼明けましておめでとうございます。今年も、引き続きよろしくお願いします。▼それにしてもさんざんな新年でした。これ以上悪くなりようなし、などと嘯いていると、もっと酷いことになるかもしれない、と悲観的になってしまいます。シャキッと背骨を伸ばして、と自戒する松の内でした。▼嬉しいことに、今月26日のクラブ例会の際。3名の新メンバーの入会式を執り行うことになったことです。新メンバーを迎え、活気あるクラブ活動の年になることを心より願っています。先ずは、5月の富士山例会の再開を是非実現したいものです。▼本誌の編集にも更に頑張りたいとは思いますので、皆様の一層のご協力を心よりお願い申し上げます。（編集子）

"To acknowledge the duty that accompanies every right"